



# No-Dig 2011 ベルリン 報告

## ■ ISTT 総会に出席して

近藤 恭子

KONDO Kyouko

JSTT 日本非開削技術協会  
事務局



今年のNo-Dig国際会議は前回のNo-Digシンガポールから約半年しか離れていないことや震災の影響もあり、調査団を結成することができませんでした。日本からはJSTT事務局、論文発表者の国士舘大学の堀地先生と展示者の積水化学工業株が参加いたしました。以下にISTTの総会に参加した報告をさせていただきます。

## 1. 概要

2011年5月2日（月曜日）

時間：10：00～16：00

場所：Messe Berlin, Hall London

ISTT（国際非開削技術協会）の年1回の定時総会。全26カ国の加盟国中、今回は25カ国が出席。

## 2. 内容

今年の総会には、会長の松井の代理として事務局の近藤と、JSTT海外担当で昨年ISTTの理事になった積

水化学工業株の豊田雄大氏の二人で参加いたしました。ここでは主なトピックをご紹介します。

### (1) 2014年の開催地

2014年の開催地に立候補したスペインとトルコのプレゼンテーションが行われました。両国ともNo-Digを開催するのは初めてです。しかもトルコは昨年ISTTに加盟したばかりでしたので、どのようなプレゼンになるか多少心配されていました。しかし両国とも甲乙つけがたい素晴らしい内容で、結局その場では結論が出ず、3ヶ月以内に理事が決めることになりました。

### (2) 理事の選挙

今回理事の中の一人（Gerda Hald女史-デンマーク）が3年の任期満了を迎えたので、この議席を巡って選挙となりました。理事は最大2期（6年）まで務めることができます。Gerdaは続投をめざして再立候補し、無事に当選しました。よって今回は理事のメンバーに変更はありません。今回の選挙では、他にも南アフリカ共和国、カナダ、チェコ、から立候補者があり、理事職の人気の高まっているのを感じました。

### (3) ホームページのリニューアル

現在のISTTのホームページはかなり古いので、今年度の予算でリニューアルを行うことが決まりました。かなりの予算を取って全面リニューアルする予定です。FacebookやTwitterなどのソーシャルネットワークも活用して、ヒット数の向上を目指します。過去のNo-Dig国際会議等の論文も今よりも簡単に検索できるようになる予定です。



写真-1 ISTT 総会の様子



写真-2 総会後の集合写真